

□ 千林日に映じ鳶乱れ啼き

万樹春を囲み燕双飛す（不詳）

千林映日鶯亂啼
萬對圍春燕雙飛

（楷書）

（この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする）

半折作品は各課目ごとに横／縦に一枚ずつたたんで提出ください。

井之上 南岳先生書

（隸書）

千林映日
萬對圍春
火鳶雙飛
煙亂啼

山本飛雲先生書

次号予告「春來未負樽前笑 雨後猶餘葉底花」

<行書>

清原大龍先生書



条幅隨意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書



▽多くの花咲く林は日に映じて うぐいすは鳴き乱れ、多くの花が春を成している所には 一二羽の燕が飛んでいる。

□ いなし遍の なら農みやこの 八重桜 遣婦こゝのへに 尔本日努る可那
いにしへの 奈良の都の 八重桜 けふ九重に にほひぬるかな

△百人一首六十一△

条幅随意(臨書)（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

吉田成美先生臨

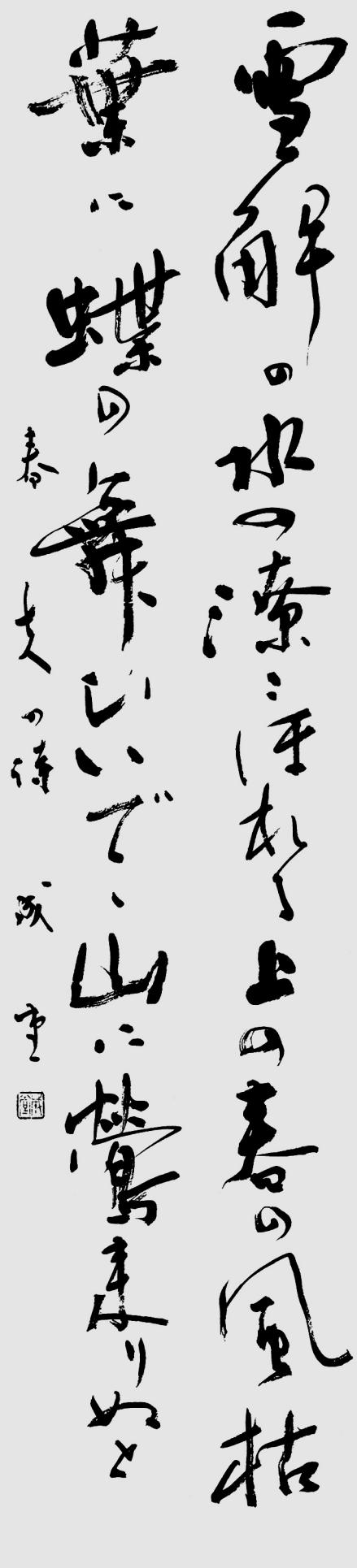
▽張猛龍碑

新衡之當春



条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のはいづれか一点のみとする）

吉田成堂先生書



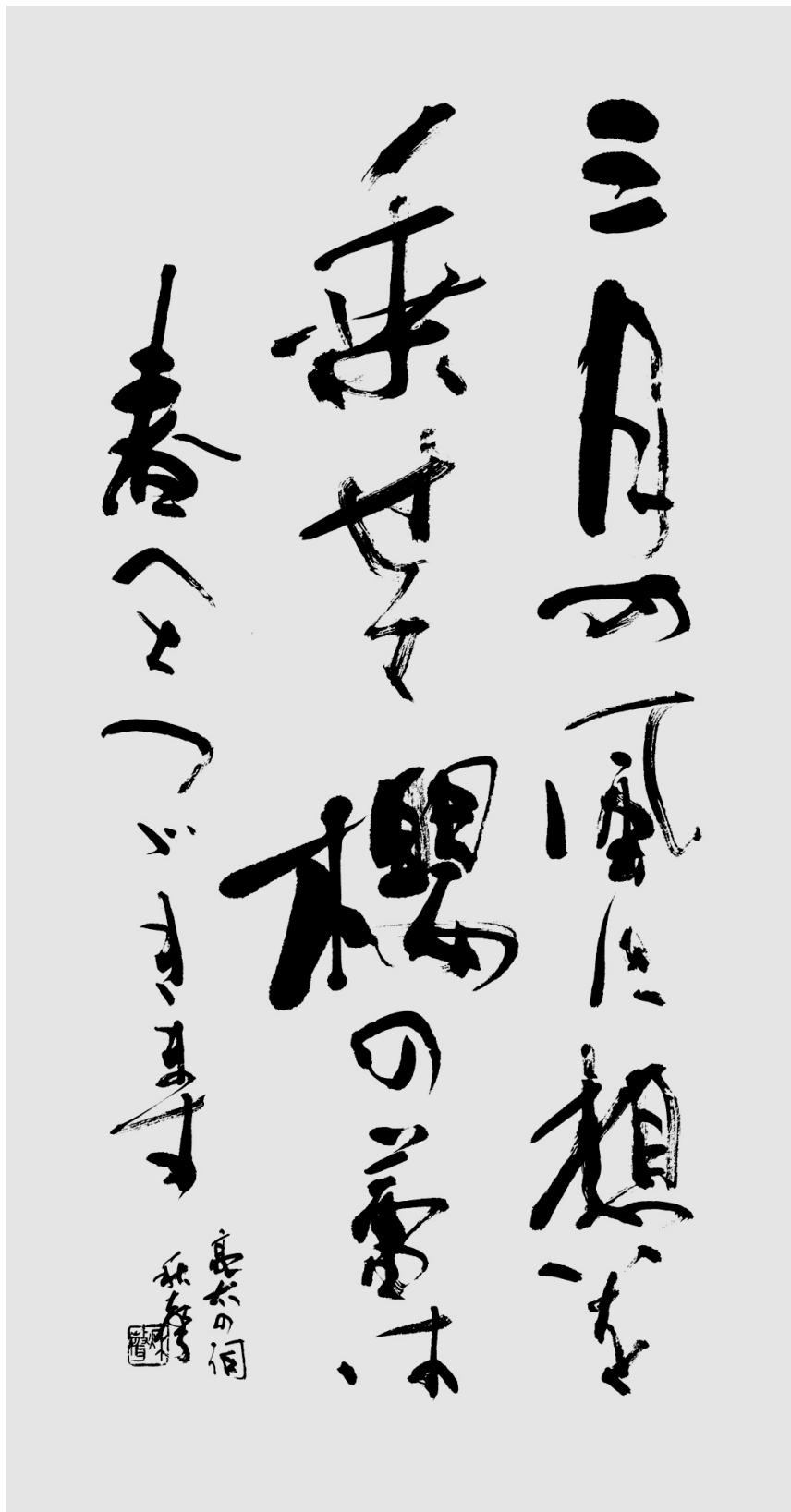
□ 佐藤春夫の詩
雪解の水の潦
こほれる上の春の風
枯葉に蝶の舞ひいで
山に鶯來りぬと

△手本(課題例)にとらわれず意欲的な作品を期待します。▽

半折作品は各課目ごとに横1/8に一枚ずつたたんで提出ください。

条幅隨意参考手本（半折½縦のみ）—3月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)



□ 藤巻亮太の詞 「三月九日」 三月の風に想いを乗せて 櫻の蕾は春へとづきます
行の響き合いと文字の大小・行の高低など変化に富んだ作品を期待します。

小畠秋聲先生書

条幅隨意参考手本（半折½縦のみ）—3月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)



廣瀬蘇水先生書

半紙規定参考手本 —3月末日締切—

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)



次号予告 「贈子以自愛」

吉田成美先生書

半紙規定参考手本 —3月末日締切—

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)



□ 山桜は早に紅を発す (梁・六朝) 簡頃
山桜は早くも、紅みがかつてゐる。

次号予告 「贈子以自愛」

吉田成美先生書

半紙隨意參考手本 ——3月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)



□深心追往 心を深くして往を追う
しみじみと昔を追想する。
(宋六朝・顔延之)

次号予告「研道」

渡邊大嶽先生書

半紙隨意參考手本 —3月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

□ い 尔 し 遍 の

な 羅 農 み や この

八 重 桜

遣 婦 こゝ農 遍 へに

耳 本 日 ぬ る 可 那

△ 仮

名 ▽

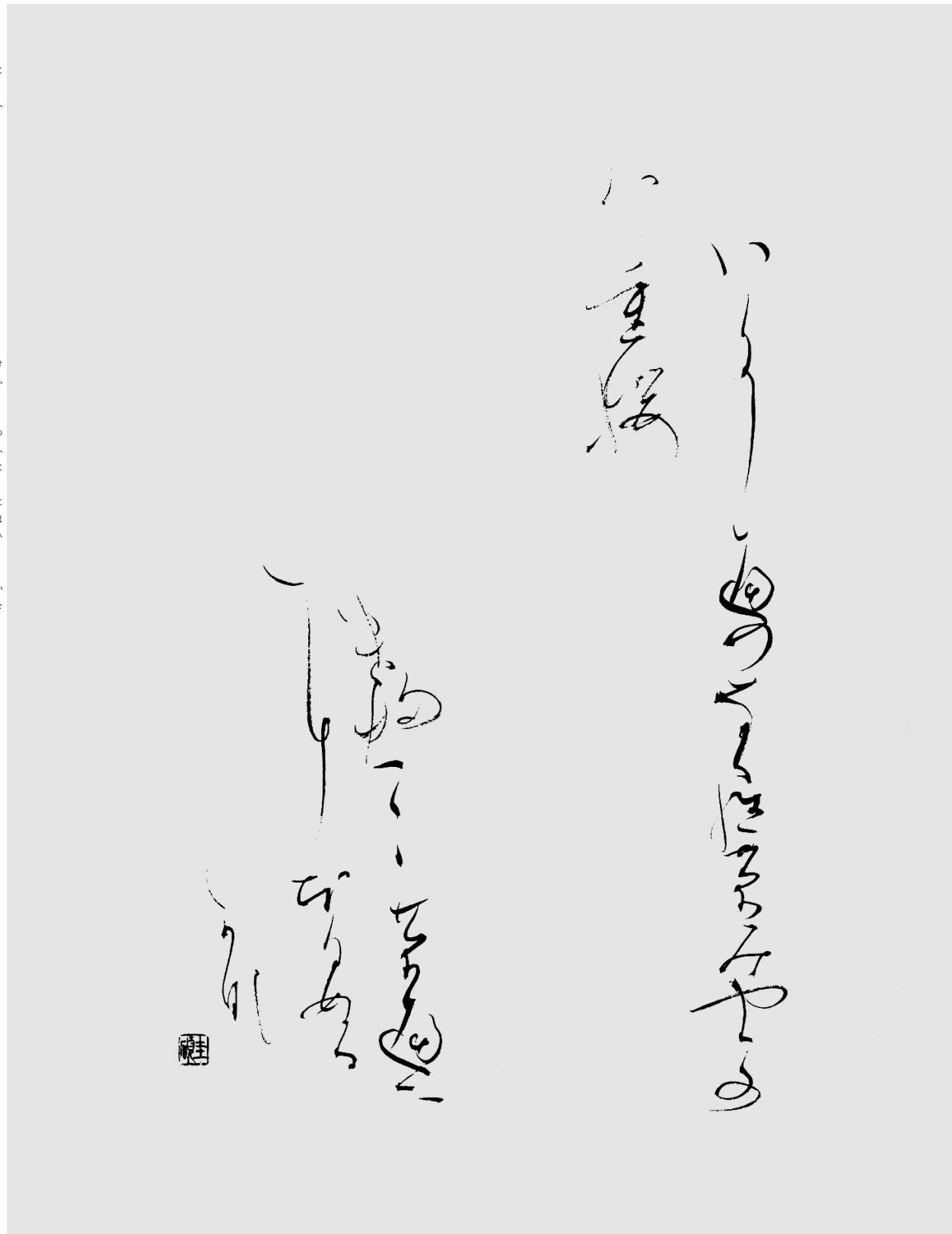
い に し へ の

奈 良 の 都 の

八 重 桜

け ふ 九 重 に

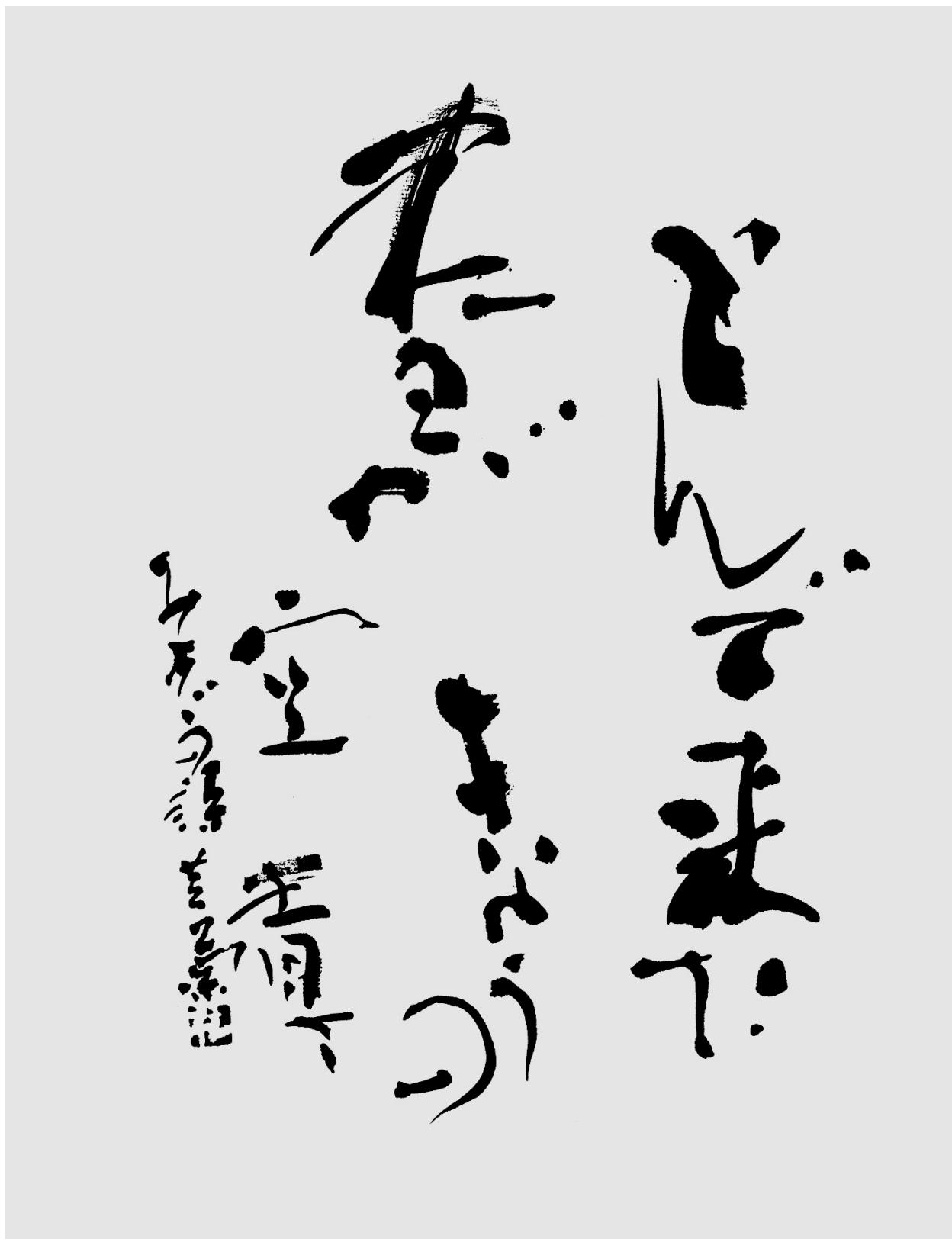
に ほ ひ ぬ る か な



舟 尾 圭 碩 先 生 書

半紙随意参考手本 ——3月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)



西 谷 芝 蘭 先 生 書

※ 出品券は、半紙をタテにした左下に貼つて提出ください。
(モノ作品の場合も半紙をタテにして同様に貼つてください)

△詩文書▽
金子みすゞの詩 とんで來た 春が きょうの空 青さ
き
はる
そら

半紙隨意(臨書)参考手本 —3月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする)



△臨書▽ 穂先が紙にくいこむような弾力を活かした起筆にチャレンジしよう。

吉田成美先生臨

半 紙 隨 意 參 考 手 本 — 3月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

姓
号

広島	鳥取	兵庫	滋賀
山口	島根	奈良	京都
徳島	岡山	和歌山	大阪

△実用書▽

滋賀 京都
島根 大阪
岡山 兵庫
広島 奈良
山口 和歌山
徳島

半 紙 隨 意 參 考 手 本 —3月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△手紙文△

陽気に誘われて出掛けた散歩の
途中で土筆を見つけました。摘んで

帰り袴を取つて卵とじにて食べると

口の中に早春の味が広かり遠い日の故

郷の風景が蘇つて来ました。 紀子

陽気に誘われて出掛けた散歩の途中で土筆を見つけました。摘んで帰り袴を取つて卵とじにして食べると口の中に早春の味が広がり遠い日の故郷の風景が蘇つて来ました。

紀子

大坪桂子先生書

一般硬筆部参考手本〈B〉—3月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

書譜

△暮らしに役立つ書△

四月一日の夜からが感一から始まること。
希望する大学への進学が決まり、弾丸
毎日ですね。これから始まる新一年生活を
みんなで応援しておき。

惠理子

野のある便箋に書いてみよう。
△26cm×18cm▽
紙質は自由。

- 春は、人と集まつたり、出会いが増えたり連絡先を交換する機会が多くなります。便利なツールは私も使用しますが、やはり住所を聞いて、お便りを出すことをなくさないようにしたいものです。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

兵頭自慧先生書

(この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。)



△条幅 $\frac{1}{4}$ || 四尺画仙紙半折 $\frac{1}{4}$: 68 cm × 17.5 cm

秋 永 春 霞 先 生 書

学生部規定手本

—3月末日締切—

□書き始めは、筆の先をきれいにととのえてから、腕全体でのびやかに書きましょう。



小学二年

□「ゆ」は一画目と二画目の交じわる位置に気をつけましょう。"ハライ"はていねいに。



次号予告「さくら」

ようねん・小学一年

次号予告「い　け」

坂元紫香先生書

□偏と旁、点画の接する点に気をつけ、広がりと強さの中にも明るさのある作品にしよう。



小学四年

□字形をやや縦長に保ち、二画目の転折、六画目の点は力強く、立体感のある作品にしよう。



次号予告「麦」

小学三年

次号予告「十」

吉田成美先生書

小学五年

次号予告「成長」

中学一年

次号予告「新風」

□ 筆順や点の位置、横画の間に気をつけて、明るい作品になるように心がけましょう。

将來の夢

小学六年

次号予告「友情」

立つて大地に

□ 漢字と平仮名のバランスに気をつけ、伸びやかに書きましょう。

秋永春霞先生書

□ 筆の穂先をつかって、リズムにメリハリをつけ、急がずにゆったりとした気持ちで書きこう。

理想的実現の

中学一・三年

次号予告「雷鳴」(行書)

不言实行実

□ 文字の中心を意識しながら、「不・言」は横画、「実・行」は部首に注意して書きこう。

吉田成美先生書

硬筆部規定手本

段級	はりましょう。	書いたで。	学校であつたで。
氏名	黒ばんに	ドに	たで
◎たててよこせんにつける 木 枡 桂 枝 校	黒里甲申	ド	た
◎ながくつきでる 「ナキ」書	。う。	ト	ア
「◎とんのむさにはかるうつする 「ト」里里里	。	カ	ク

バスの停りゅう所の辺りまで来たとき、粉雪がふり始めました。それでも、石けりの輪は終わりません。

坂元紫香先生書

ようねん・小学一年

段級	ら い の 大 き な さ で す。	と き は 、 子 ね こ ぐ	や ん は 、 生 ま れ た	ラ イ オ ン の 赤 ち
氏名				
一 十 士 夫 夫 赤 赤	(◎はらう ◎はねる あか)			
ノ 一 牛 牛 生 生	(◎上の二本の よこせんより ながい (3))			
フ 了 子	(◎はねる とこうのまじわる い)			

香 先 生 書

小学三年

外はすゞ星で、月も出ていた。とうげの下りの坂道は、一面の真っ白いしもで、雪みたいだつた。

段級
氏名

(右上にはらう)
（さか）
一
百面面

(上下的よこかくにつけれる
二本そぞろに下のよこかくにつけれる)

坂元紫香先生書

硬筆部規定手本

— 3月末日締切 —

小学六年

まっすぐ下におろす
はねる
右上へはらう
はねる
ヲは一画で書く

海底の砂にもりをさして場所
を見失わないようにしてから、
太一は銀色にゆれる水面にうか
んでいった。息を吸つてもどると、
同じ所に同じ青い目がある。

鏡は、二人の後ろの、開け放しになつて、いる入り口をうつし出しました。家の中は、たいへん暗くて、外の夕方の景色が、とても明るく真じゆ色に見えました。

小学五年

鏡は、二人の後ろの、開け放しになつて、いる入り口をうつし出しました。家のの中は、たいへん暗くて、外の夕方の景色が、とても明るく真じゆ色に見えました。

どの国でも春の到来を実感せ
る光景はほとんどの場合、植物に
関係しているようだ。枯れた大地が
少しずつ色づくときに春を感じる
のは世界共通の現象である。

小畠秋聲先生書

一 般 (A)

(1)の課目はA・Bいずれか一点のみとする

メダカは絶滅危惧種になつてゐる。川の中をのぞいても、お遊戯は見られない。命、盛んな季節である。ありふれた者がありふれて存在する尊さを、小さき者のメッセージとして、心に刻む。

五至至到到
ノ戸戸咸咸感
一門門閥

どの国でも春の到来を実感せ
る光景はほとんどの場合、植物に
関係しているようだ。枯れた大地が
少しずつ色づくときに春を感じる
のは世界共通の現象である。

小畠秋聲先生書